



まちのできごと

10/17 若草保育所消防士体験 消防士になりきって

秋の火災予防運動の一環として、若草保育所で消防士体験が行われました。

園児たちは、火災を想定した避難訓練を行った後、消防車と記念撮影し、救急車の中を見学しました。その後、年長組の園児たちは防火服とヘルメットを装着して消防士に扮し、消火活動を体験しました。放水の勢いにびっくりしながらも負けないうっかりと足を踏ん張り、的に向けて水を掛けていました。



↑放水の勢いに驚く園児

↓給食を食べる雄武小学校の児童



10/5 町内小中学校への給食食材無償提供 地元食材を給食に

子どもたちに地元の海産物を味わってもらおうと、雄武漁業協同組合から給食センターに雄武産のサケ60kgが無償提供されました。同漁協では、毎年ホタテやサケなどの食材を提供しており、今年で12年目。この日、給食センターでは「サケのごまみそがけ」として調理し、町内小中学校の児童・生徒に振る舞われました。雄武小では「一番美味しかった」「毎日食べたい」など、お気に入りになっていたようでした。

↓楽器演奏と歌唱による公演の様子



10/1 平成30年度芸術鑑賞会 音楽の秋を楽しもう

芸術鑑賞会が町民センターで開催され、若草保育所および町内小中学校の児童・職員など約300人が鑑賞しました。

鑑賞会では、札幌市を中心に道内各地で公演を行う音楽グループ「あみゆぜ。」が公演を行いました。「あみゆぜ」(amuser)はフランス語で「楽しむ・遊ぶ」という意味があり、公演の中では児童たちも一緒に体を動かす場面もあり、「あみゆぜ」という名前のおり会場全体が楽しい空気に包まれていました。

↓地元チーム「雄武フライングタイガース」



10/8 雄武町長杯少年野球大会 熱球！白熱した大会

雄武町長杯少年野球大会が町営球場（農村広場）で開催され、紋別市、興部町、雄武町からの4チームがトーナメント戦で競いました。雄武フライングタイガース主将の石橋誠司くんが「最後まで笑顔で」と宣誓を行い、選手たちは詰め掛けた保護者からの声援を背に健闘。雄武フライングタイガースは、初戦石橋くんの快投や高田くんのホームランなどで快勝。決勝戦は、興部に敗れたものの、スタンドからは選手の健闘を称え温かい拍手が贈られました。最優秀選手賞には、小森結斗くん（興部）、優秀選手賞には、高田龍之介くん（雄武）が選ばれました。

10/7 平成30年度「ふれあい広場 in おうむ」 世代間で交流を

地域福祉に対する諸問題について認識を深めながら世代間交流を図ろうと、町社会福祉協議会主催による、ふれあい広場が町民センターで開催されました。ロビーでは、日用雑貨や野菜のフリーマーケット、介護用品の展示・体験コーナーが設けられたほか、ステージでは児童センター「風の子キッズ」による一輪車の演舞や、雄武中吹奏楽部による演奏が披露されました。最後には恒例のもちまきが行われ、訪れた多くの人を楽しませていました。



↑ロビーで行われたフリーマーケット

10/20 そば打ち講習会 そばの香りに笑顔

中山間活性化施設で町特産品の「^{だったん}韃靼そば」を使ったそば打ち講習会が行われました。おうむ手打ち蕎麦の会のメンバーから教わりながら、受講者は真剣な表情で取り組みました。完成したそばを茹でると、そばの良い香りと韃靼そば特有の薄緑がかった色が茹でた鍋に広がりました。完成したかけそばを試食した受講者は「いつも食べる乾麺のそばと比べ、風味も食感も全然違い美味しいです」と笑顔で話していました。



↑手打ち蕎麦作りをする受講者

↓褒記を手にする花田一夫氏



10/10 紺綬褒章受章 花田一夫氏が紺綬褒章を受章

紺綬褒章は、公益のため私財を寄附し、功績が顕著な方に対して国が顕彰するものです。花田一夫氏は、昨年12月に、町に対して多額の寄附をされており、10月10日(水)に、中川原町長から褒章、木杯および褒記が伝達されました。町ではこの寄附金を、花田氏の希望に添える形で「ホテル日の出岬のソーラー発電設備」(来年3月完成予定)の費用に充てることとしています。